

平成 22 年 3 月 24 日

京情協 地域情報化委員会 (22 年度 第 6 回) 議事録

開催日時:平成 22 年 3 月 23 日(火) 17:00~18:30

開催場所:京都コンピュータ学院駅前校 本館 1F インフォメーションルーム

参加者:小林、和田、藤関、古川、相原、福本、吉川、桧山、中川、桂田(順不同、敬称略)

配布資料:地域情報化委員会(第 7 回)議題、添付資料 ~

議事:

---

**【議題 1: 21 年度活動の総括】** 添付資料、

---

- ・ 21 年度活動の総括を委員長から報告した。

**1. 新春セミナーの開催 1 回 / 年 (1 月)****活動報告**

- ・ 2010/1/15 に平安会館にて、「世界への架け橋 東京スカイツリー ~これまでの取り組みと今後の展開」の演題で、東武タワースカイツリー(株)の吉野取締役にご講演頂いた。
- ・ タワー未完成の段階での講演実施に多少の不安はあったが、講演内容が良かった事と、ニュースでも取り上げられるようにもなっていたため、結果的にテーマとして良かったと思う。

**2. 行政との連携 (経済産業省、京都府、京都市、京都府中小企業技術センター)****活動報告****経済産業省が推進する地域イノベーションパートナーシップ構想実現に向けての協力**

- ・ 当協会は関西イノベーションパートナーシップの京都地域のドライバーとなった。今期からの新たな活動で協力依頼されてから十分な準備期間がなかった事と、まずは当協会の活動内容を知ってもらおうという意味で、従来の 2 事業 (経営研究会、情報交換広場) を申請、実施した。

申請した 2 事業は経営委員会が実施した。当委員会は事務的な動きを行った。(例: 対外的な窓口として他ドライバーも集まる会議への出席・補助金の申請、実施に関する留意事項の周知など)

来期活動は未定 (理由: 申請基準がどう変更されるか現時点で不明のため)。協力依頼が来たら検討することとする。

**京都府・京都市の情報関連施策に協力し、懇親会などを通じた連携強化を努力**

- ・ 今期報告すべき活動はなかった。

**IT コンソーシアム京都の部会活動に対し、委員代表者を部会に出席させ、その議事録を広報**

- ・ 4 部会のうち医療情報化部会のみ活動があり、担当である相原氏に 2 度の会議に出席して頂いた。内容としては 2 次元バーコードを活用したポケットカルテの紹介などで、詳細の議事録は広報済み (2 回目の議事録については添付資料 参照)。
- ・ 3/29 に医療情報化部会 (第 3 回) が実施される予定で、相原氏に出席して頂く予定。

**3. 行政関連団体との連携****活動報告**

- ・(財)京都産業21、京都試作センター(株)を始めとする行政関連団体の動きに着目し、必要に応じ会員へ広報する予定をしていたが、今期については特に広報すべき内容はなかった。

#### 4. 他府県の情報産業団体との連携

##### 活動報告

- ・他府県同業団体との連携については、まず他団体がどんな活動を実施しているかを知る事が大切であると考え、当協会・当委員会の活動に取り込めるものが無いか他府県同業団体の活動を調査した。  
正副委員長以外の委員にも積極的に協力して頂き、約60団体に対し、100件近くの活動情報を得た。基本的にはHPの内容を確認し、各委員が面白そうと思う活動をピックアップしている。
- ・ピックアップした活動の一つである「夢絵コンテスト」を、当協会10周年記念事業イベントの案として提出した。(但し、10周年記念事業イベントはまだ決定していないが、現時点ではANIAの記念事業と一緒に開催する可能性が高い。)
- ・調査結果を参考に今後も検討を進めていきたい。すぐに実施出来ない活動内容であっても、先では参考になるかも知れないため、調査結果はデータベースとして大切に保管したい。
- ・なお、今回の調査については、委員にも協力・分担して頂いたため、効率よく進める事が出来た。今後、分担することで効率よく進められる活動については、分担していきたいと考えているため、今後も協力をお願いしたい。

#### 5. 採用支援セミナーの開催

##### 活動報告

- ・2009/11/12に京都コンピュータ学院にて、「勝ち残る企業とは。“採用と育成”新時代への人事施策再編を考える」のテーマでセミナーを開催した。
- ・セミナー前半はマイコミ山本氏による「採用パート」、後半はマングローブ岡氏による「育成パート」となる講師2名による形式であった。

##### 検討をお願いしたい事項

- ・4月の当委員会にて、来期に実施するセミナーのテーマ・開催方法を検討する。
- ・今までは「新卒採用」を中心にシリーズ展開していたが、時期的に集客も大変になってきている。「人材確保・定着・育成」というテーマは大きく変えないが、魅力あるテーマにしたい。
- ・各委員には、次回委員会までに、どんなテーマが良いか考えておいて欲しい。

#### 6. 「採用耳より情報」の発信

##### 活動報告

- ・諸々の採用に関する情報を会員企業に発信する活動として、「採用耳より情報」を以下の通り発信した。
  - ・vol.6 2009年5月  
「IT企業の採用動向」非上場の6割が意欲的な新卒市場・急速に冷え込む中途市場」
  - ・vol.7 2009年8月

本格化する「ゆとり世代」の採用・新型社員の特徴とは？

・ vol.8      2009年10月

「面接対策」面接官が陥りやすい8つの評価ミス

## 7.立命館大学のリサーチオフィスを訪問・ヒアリング実施

### 活動報告

- ・ 21年度活動計画には挙げていなかったが、2009/12/22に立命館大学くさつキャンパスのリサーチオフィス（リエゾンオフィス）を訪問し、産学官連携コーディネータの松田氏（バンテック殿）他2名の担当者からヒアリングを行った。  
ヒアリングの目的はリエゾンオフィスとの連携が可能か探るため、そのための一歩として、まずはリエゾンオフィスの活動内容などを中心にヒアリングした。
- ・ 基本的には、企業対リエゾンオフィスという関係であるため、団体レベルでどんな連携が可能かは今後検討が必要となる。大学のシーズを会員企業に紹介する、会員企業に対してリエゾンオフィスの活動内容を紹介する機会を設けるといった形は可能だが、効果的な連携は難しいかも知れない。

## 8.今年度の収支結果

### 報告

- ・ 当委員会の今期予算（47万円）に対し、約12万円が余っている（理由：他府県情報産業団体との連携に対し10万円の予算を取っていたが、その予算を使用しなかったため他）。

---

### 【議題2：その他（来期活動等に関する提案・意見交換）】

---

- ・ 来期活動等に対し、各委員から以下のような提案・意見がなされた。

#### 1.他府県同業団体との連携について

##### ANIAの部会参加について

- ・ ANIAに部会が設立された。来期に1回位、オブザーバーとして参加してはどうか。（和田氏）  
活動内容の議事録があれば、和田氏が委員長に送る。

##### 他府県同業団体の活動財源について

- ・ 他府県同業団体の活動の中には、会費以外で運営しているものが多いのではないかと。活動内容とともに、財源の裏付けを確認することが大切。会費だけでは限られるため、会費以外の事業費（交付金など）を得ることも考えていってはどうか？（小林氏）  
当協会として、今後どういった事業を展開していくかを検討するにあたり、会費以外の事業費も考えていく必要がある。その際に他団体がどういった事業費で運営しているかは参考になるのではないかと。（委員長）

##### KISA ビジネスカンファレンスについて

- ・KISA は来期もビジネスカンファレンスを実施予定。来期はより拡大した内容で大阪にて開催予定。まずは身近な団体との連携から手掛けてはどうか。(古川氏)

## 2. 大学との連携について

### 同志社大学理工学部における PBL 科目に関する協力

- ・同志社大学理工学部にて実施している PBL 科目で当協会の会員企業 2 社が講師として協力している。来期は 3 年目になるが、学生に実態をより理解してもらうために、企業の開発現場を実際に見学出来ないかと考えている。見学可能な企業は少ないかもしれないが、見学することにより、企業と学生が身近になるのではないかと考えている。(小林氏)

## 3. 来期の当委員会活動内容について

### 近情協における中堅技術者研修について

- ・近情協では中堅技術者育成研修を補助金を活用しながら実施している。近情協では計画の雛型作成などを行っている。そうした活動も参考になると思われるため、今後、情報収集の上、より詳しい情報を提示したい。(古川氏)

### KVBC 人材ネットワーク研修(3回シリーズ)について

- ・KVBC において人材ネットワーク研修が実施され、参加した社員に好評であった。こういった活動も参考になるのではないかと。(藤関氏)

## 4. 当協会 10 周年事業について

- ・他府県同業団体でも記念事業を実施している旨の参考情報が、小林氏・和田氏の両氏からあった。一例として、FISA(福岡県情報サービス産業協会)における法人化 10 周年記念誌、MISA(宮城県情報サービス産業協会)における 10 周年事業、SEO(システムエンジニアリング岡山)における記念事業冊子があるとのことであった。

参考になる情報で、今後、事業推進委員会でも検討される事と思う。(委員長)

以上